

女性起業家を取り巻く現状について

【目 次】

- 1. 起業の意義. P.2
- 2. 女性起業家の現状
 - (1) 女性の起業の特徴. P.3
 - (2) 起業までの道のり（準備段階、起業時、起業後、課題）. . . P.10
- 3. 女性起業家に対する支援. P.31

平成28年1月21日
内閣府男女共同参画局

① 経済の新陳代謝と新規起業の高い成長力

起業によって経済の新陳代謝が活発となり、革新的な技術等が市場に持ち込まれ、経済成長を牽引する成長力の高い企業が誕生する。

② 雇用の創出

情報通信業や医療、福祉といった開業率の高い業種では、開業事業所における雇用創出が雇用増加に大きく寄与しており、また小売業や飲食店、宿泊業といった生業型の業種においても、開業事業所における雇用創出が大きく、起業が雇用創出に重要な役割を果たしている。

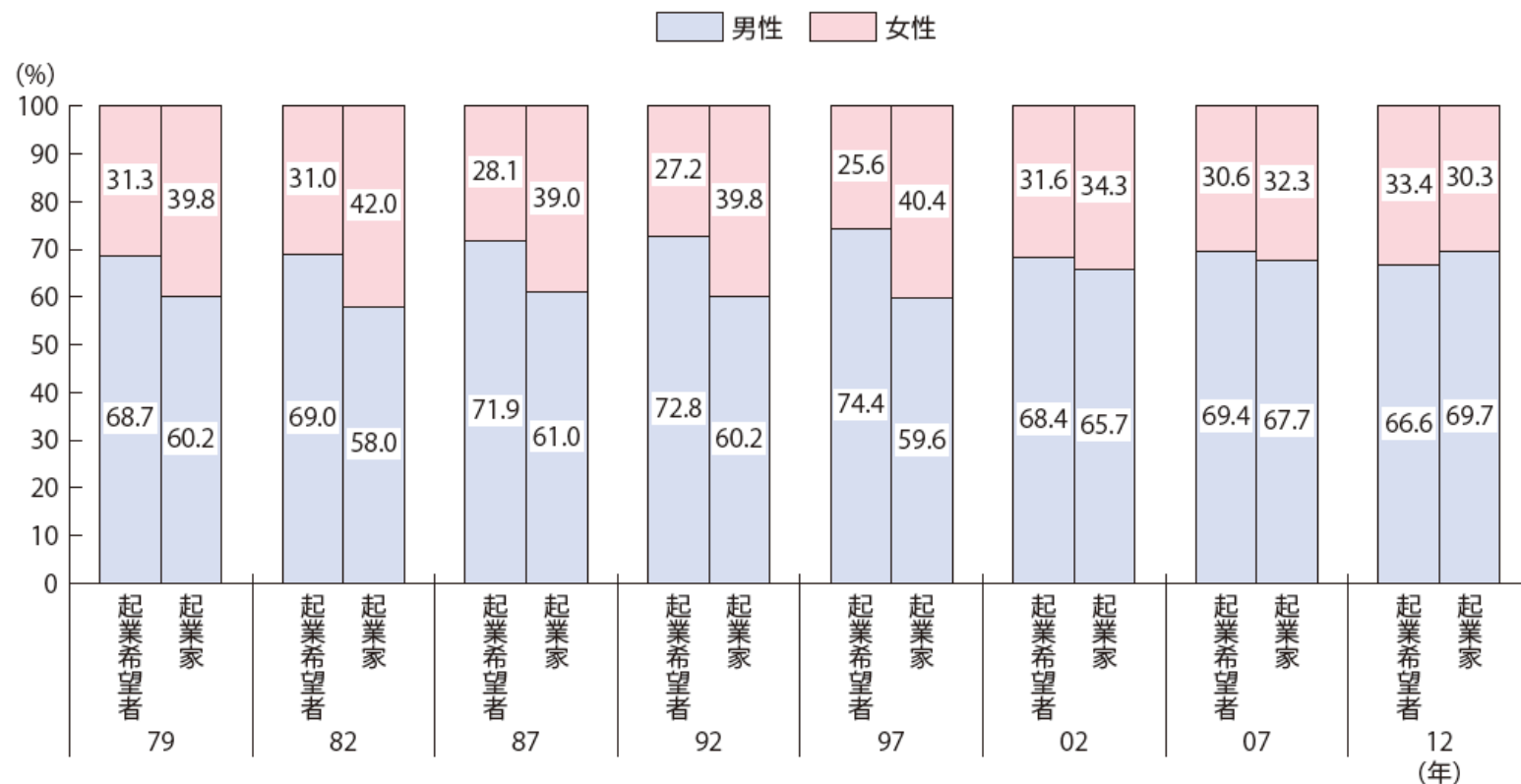
③ 起業が生み出す社会の多様性

既存の環境では実現できなかった個性・能力の伸張の場が創出されることで、より良い生き方・働き方を可能にする。

起業希望者及び起業家の性別構成の推移

【女性の起業の特徴】

- 起業家に占める女性の割合は男性より低いですが、12年データでは女性の起業希望者の割合が79年以降で最も高くなっている。
- 以前は、起業希望者に対する実際の起業家の割合が男性の方が低かったが、02年以降は概ね男女とも同程度で推移している。



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工

(注) 1. ここでいう「起業希望者」とは、有業者の転職希望者のうち、「自分で事業を起こしたい」、又は、無業者のうち、「自分で事業を起こしたい」と回答した者をいう。

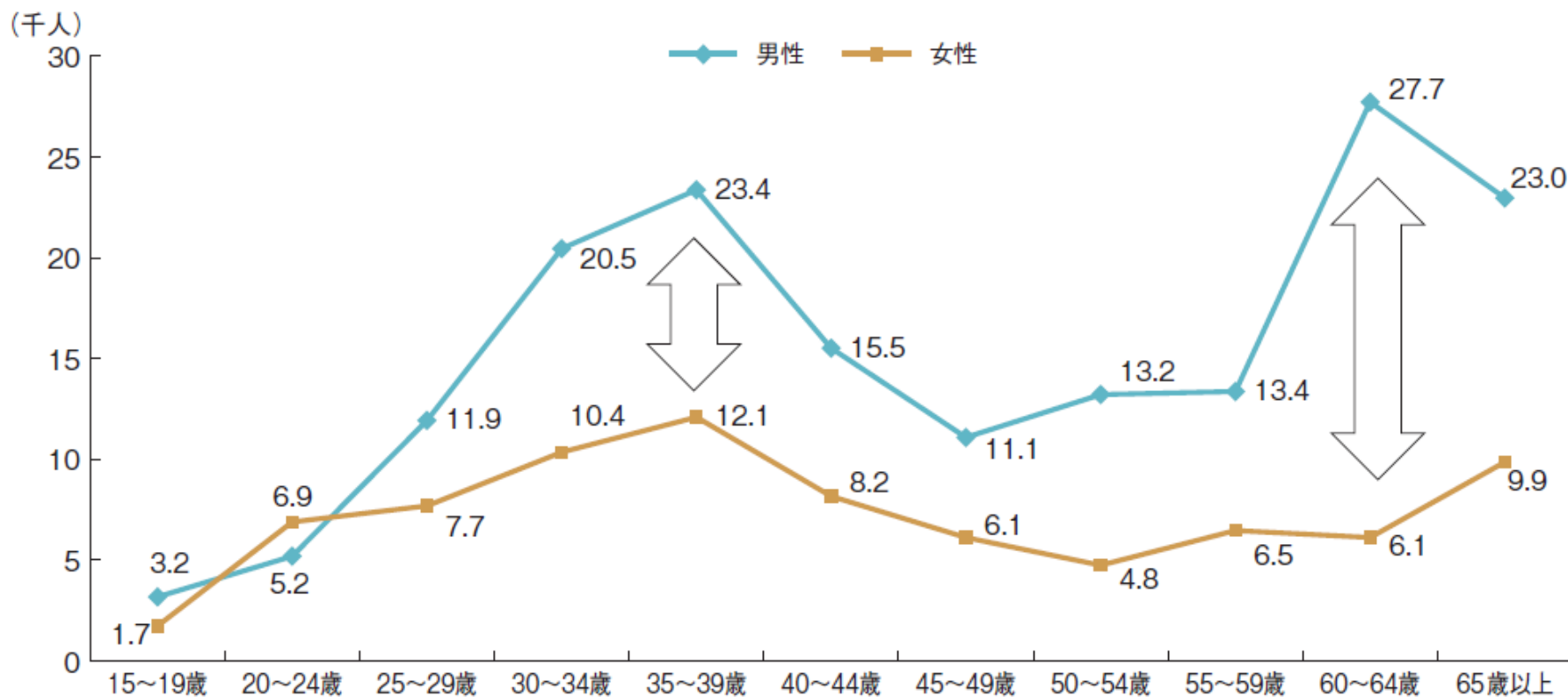
2. ここでいう「起業家」とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は自営業主（内職者を除く）となっている者をいう。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2012年版」

男女別・年代別の起業家数

【女性の起業の特徴】

- 男性起業家は30歳代、60歳代で人数が多くなっている。一方、女性起業家は30歳代の人数が相対的に多いものの、他はどの年代でもほぼ同数となっている。
- また、男性と比べて起業家数が少ない。

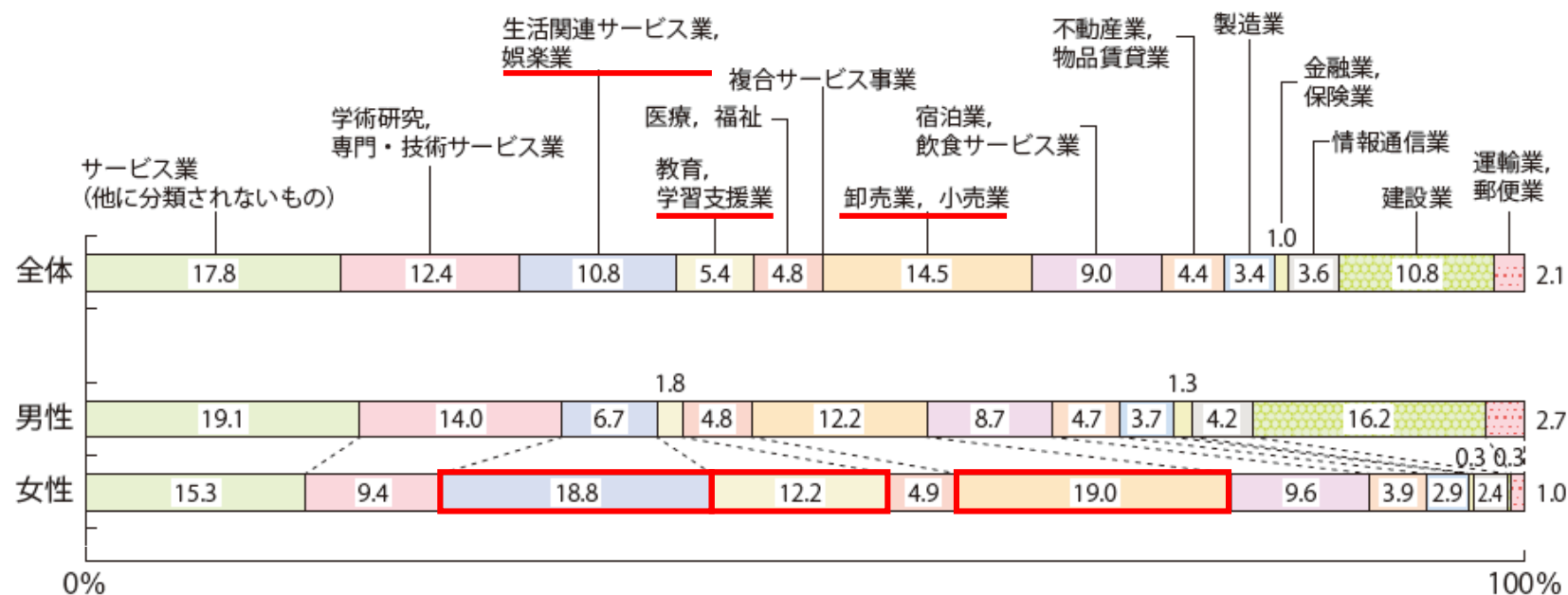


資料：総務省「平成19年就業構造基本調査」再編加工

(注) ここでいう起業家とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職に就いた者のうち、現在は自営業主(内職者を含まない。)となっている者をいう。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2012年版」

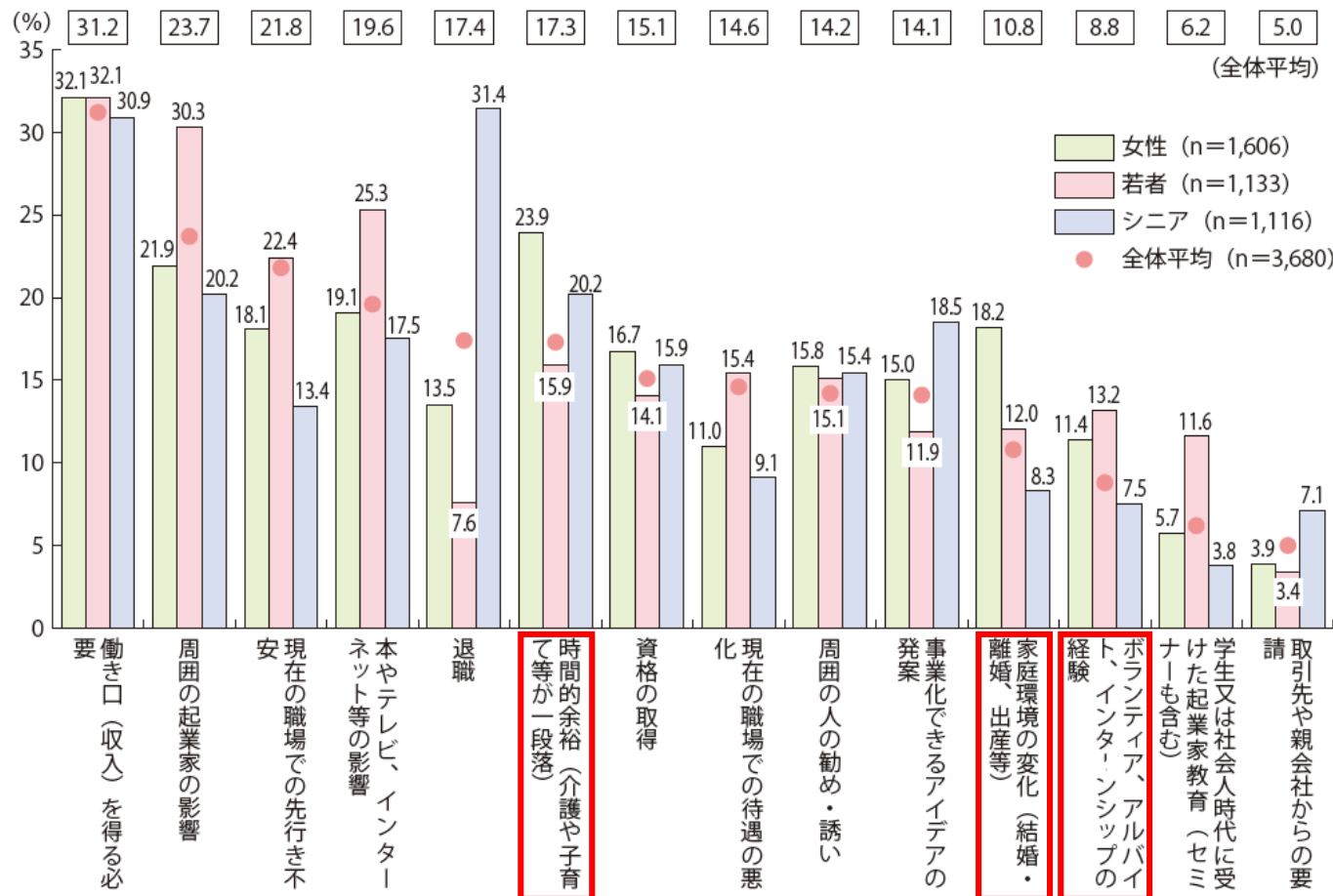
- 女性は男性と比べ、子育てや介護等、生活のニーズに根ざした「生活関連サービス業、娯楽業」、また趣味や前職で特技等を活かした「教育、学習支援業」等の分野での起業が多い。



資料：総務省「平成 24 年就業構造基本調査」再編加工

(注) ここでいう「起業分野」とは、過去 1 年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は自営業主（内職者を除く）となっている者が就業している産業分野をいう。

○ 女性は「時間的余裕（介護や子育て等が一段落）」や「家庭環境の変化（結婚・離婚、出産等）」といった家庭面に関する要因を挙げる者が多い。



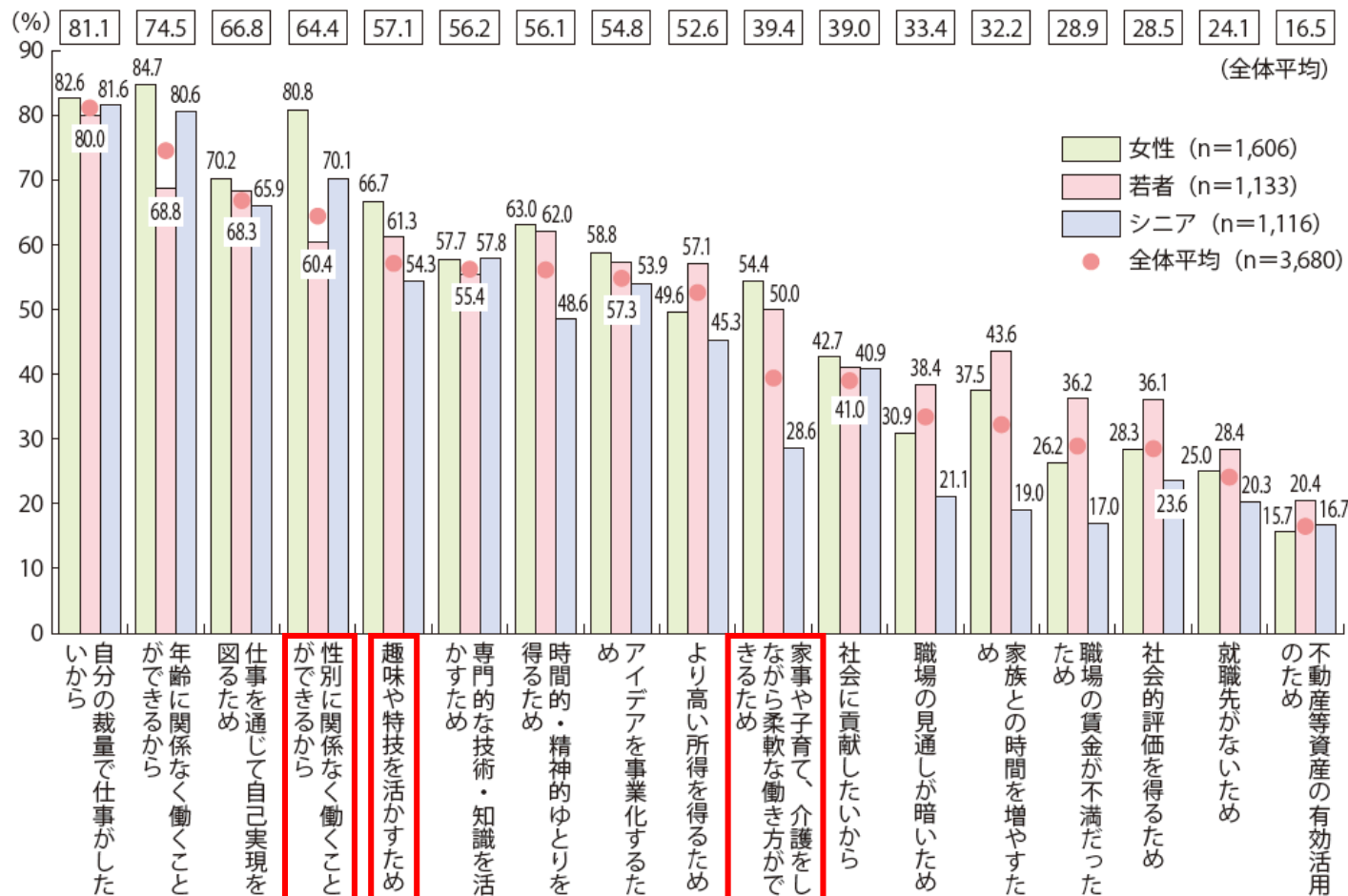
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 1. 複数回答であるため、合計は100%にはならない。

2. 回答した割合が5%未満の選択肢は表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 女性起業家は「性別に関係なく働くことができるから」「趣味や特技を活かすため」「家族や子育て、介護をしながら働けるため」を選択する割合が全体平均より高く、職務経験や趣味を活かして、家事と両立しながら起業する傾向が見られる。

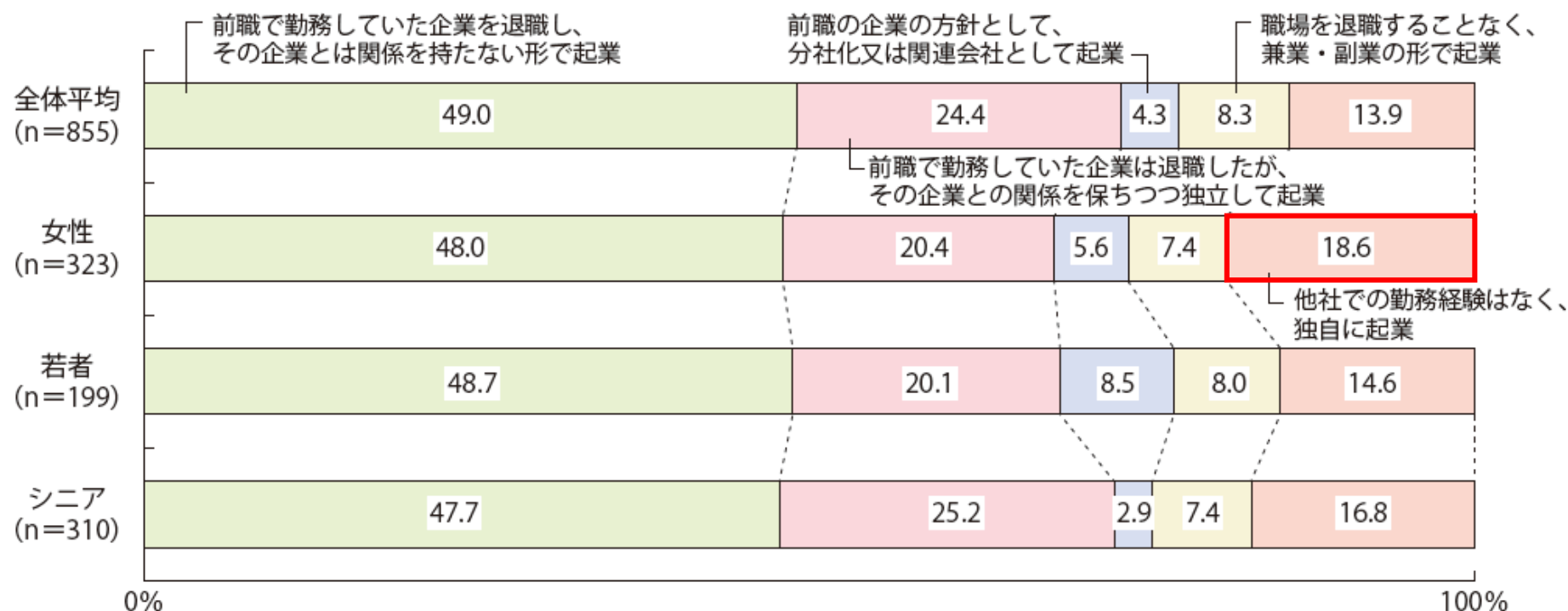


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 各項目に対して「当てはまる」と回答した割合を集計している。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 女性は「他社での勤務経験はなく、独自に起業」を選択する割合が相対的に高い。
- 職務経験が乏しい主婦等が起業を成功させるには、経験不足を補う「創業スクール」のような起業を支援する取組が必要と考えられる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013 年 12 月、三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株)）

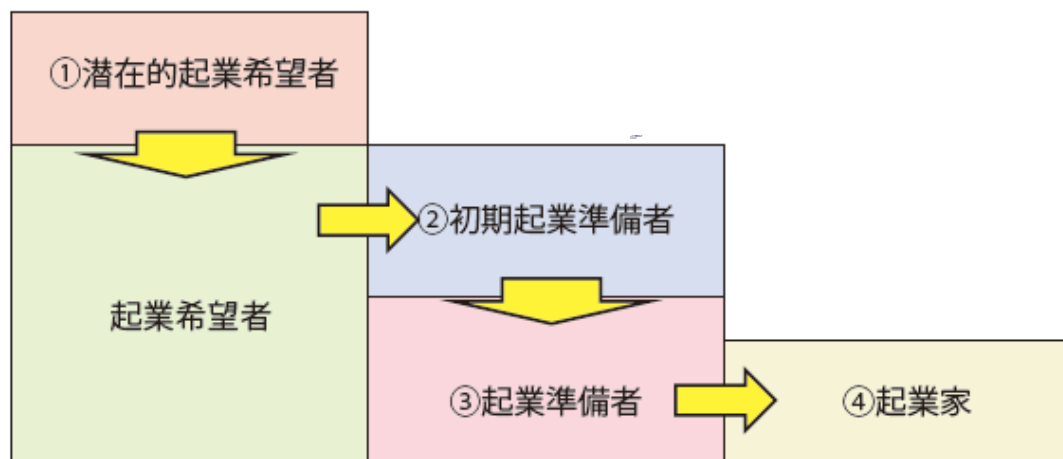
(注)「その他」は表示していない。

- 全体として、個人事業者として起業する者が7割を超えている。
- 特に女性は、個人事業者を選択する傾向がある。



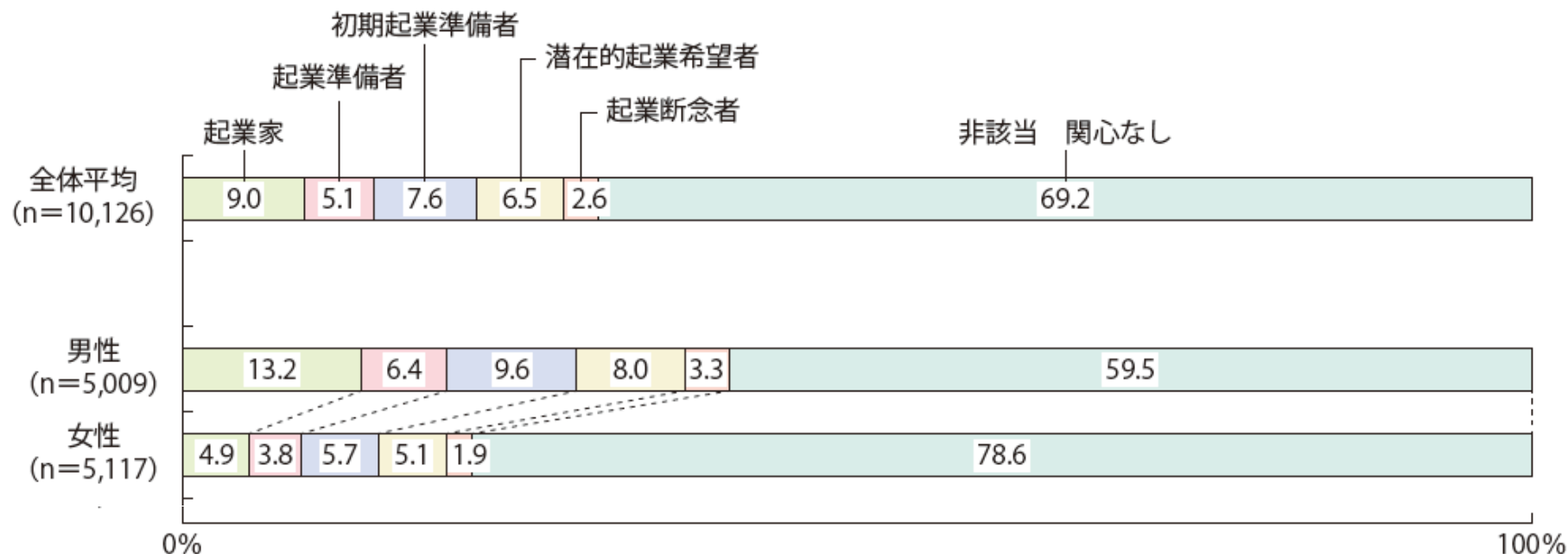
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注)「その他」は表示していない。

- 中小企業庁の調査によると、「潜在的起業希望者（起業を将来の選択肢として認識しつつ現時点では準備していない者）」は約42.9万人存在すると推計される。
- 起業家数拡大のためには、各ステージごとの課題分析・支援策の検討が必要。



- ①潜在的起業希望者
起業を将来の選択肢の一つとして認識しているが、現時点では何ら準備をしていない者
 - ②初期起業準備者
起業したいとは考えており、他者への相談や情報収集を行ってはいるものの、事業計画の策定等、具体的な準備を行っていない者
 - ③起業準備者：起業に向けて具体的な準備をしている者
 - ④起業家：起業を実現した者
- } 起業希望者

- 男性の方が四つのステージ全てにおいて割合が大きく、起業に無関心な割合は女性の方が大きい。



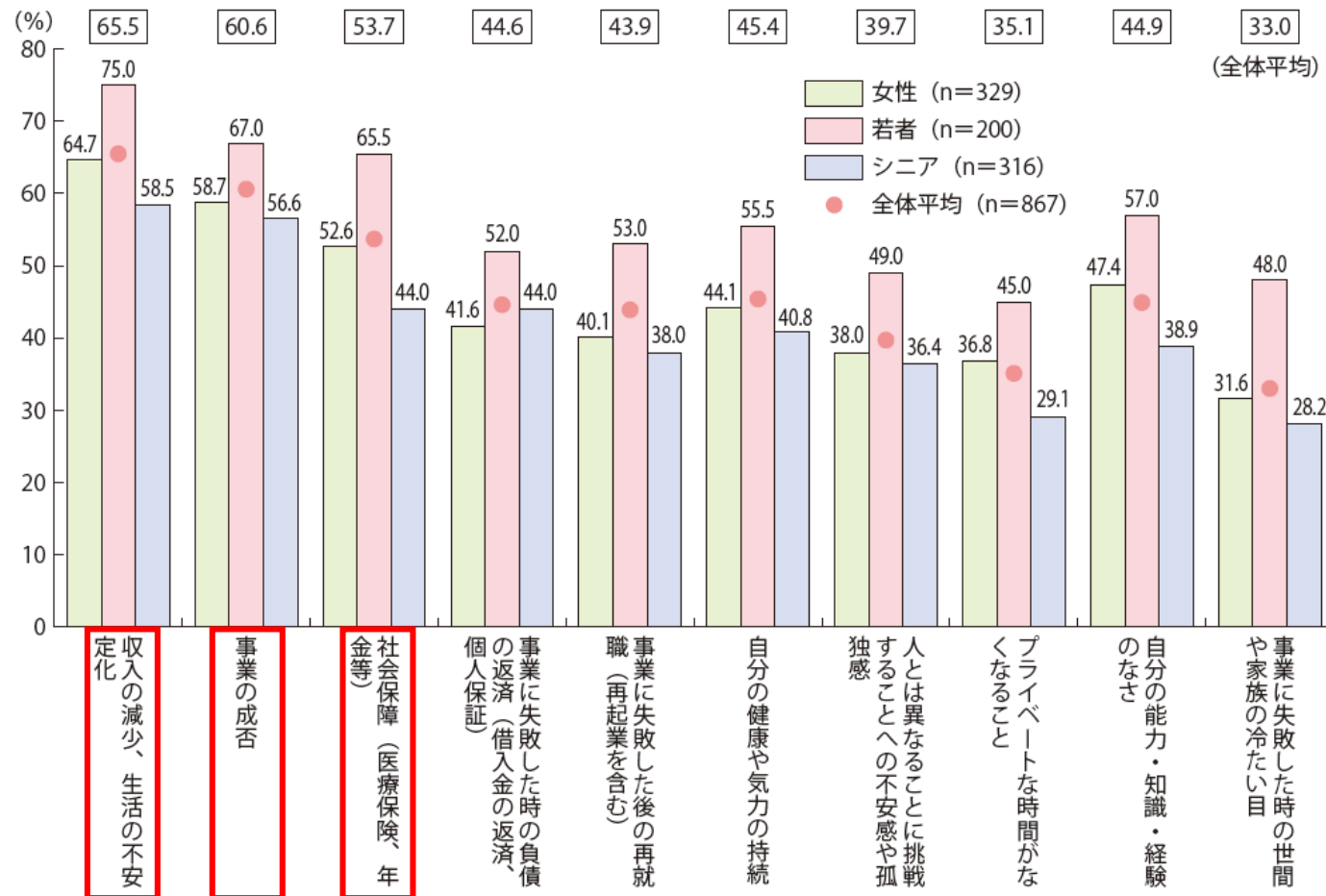
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

（注）1. 本調査において、若者とは35歳以下、壮年とは35歳超から55歳以下、シニアとは55歳超とする。

2. 本アンケートにおける起業家とは、起業を経験した者をいう。

※インターネットのスクリーニング調査を全国の20～69歳の男女49,015名に対して行い、うち潜在的起業希望者、初期起業準備者、起業準備者、起業家、起業断念者を抽出し、本アンケートへの回答者としている。

○ 全体として「収入の減少・生活の不安定化」「事業の成否」「社会保障（医療保険・年金等）」の割合が高く、女性も全体平均と類似した傾向にある。

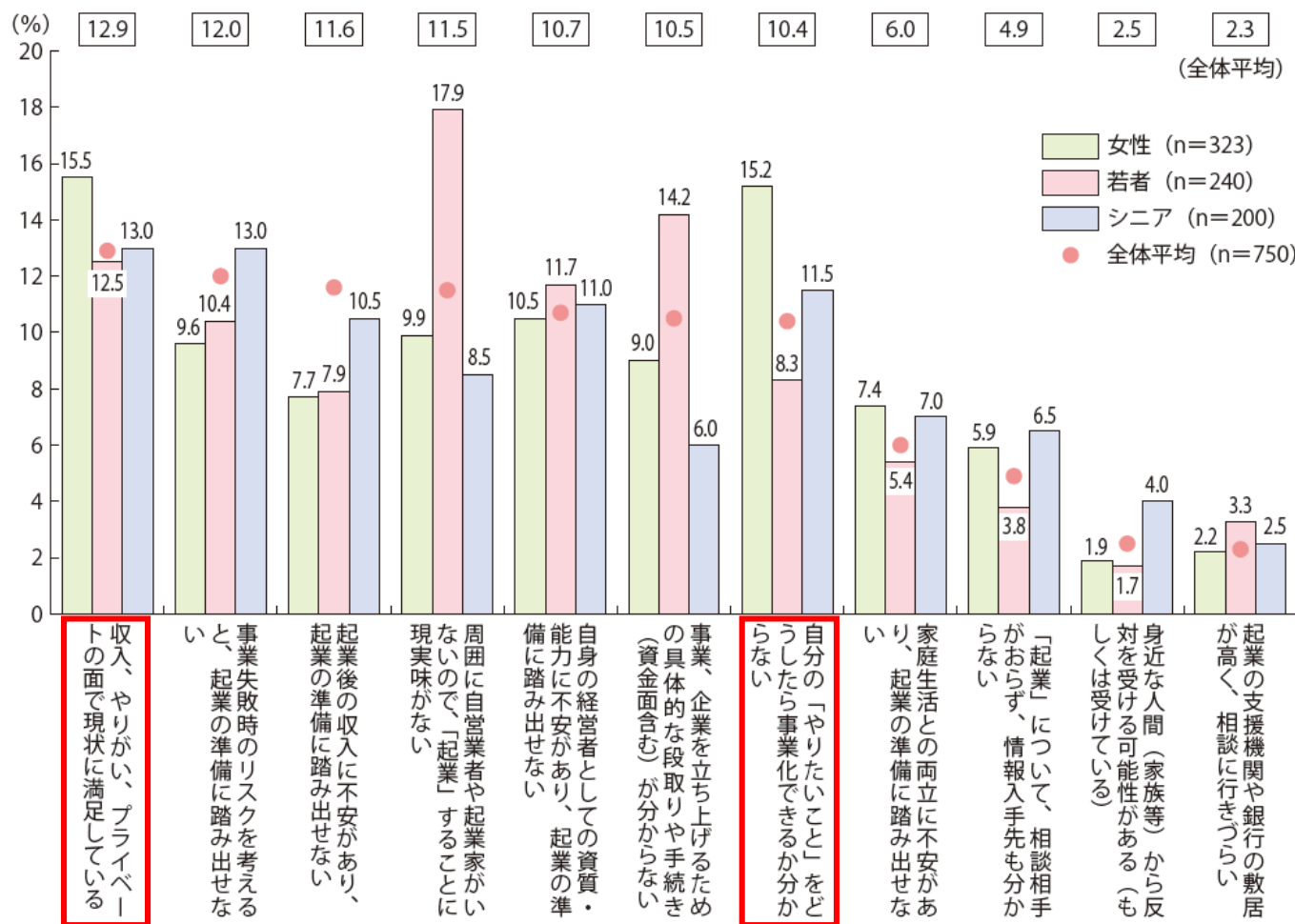


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 各項目について、「起業前に感じており、起業後も感じている」、又は、「起業前は感じていたが、起業後にはそれほど感じていない」という回答を起業前に感じている不安として集計している。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

○ 女性は「収入、やりがい、プライベートの面で現状に満足」「自分のやりたいことをどうしたら事業化できるかわからない」と回答する者が多い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

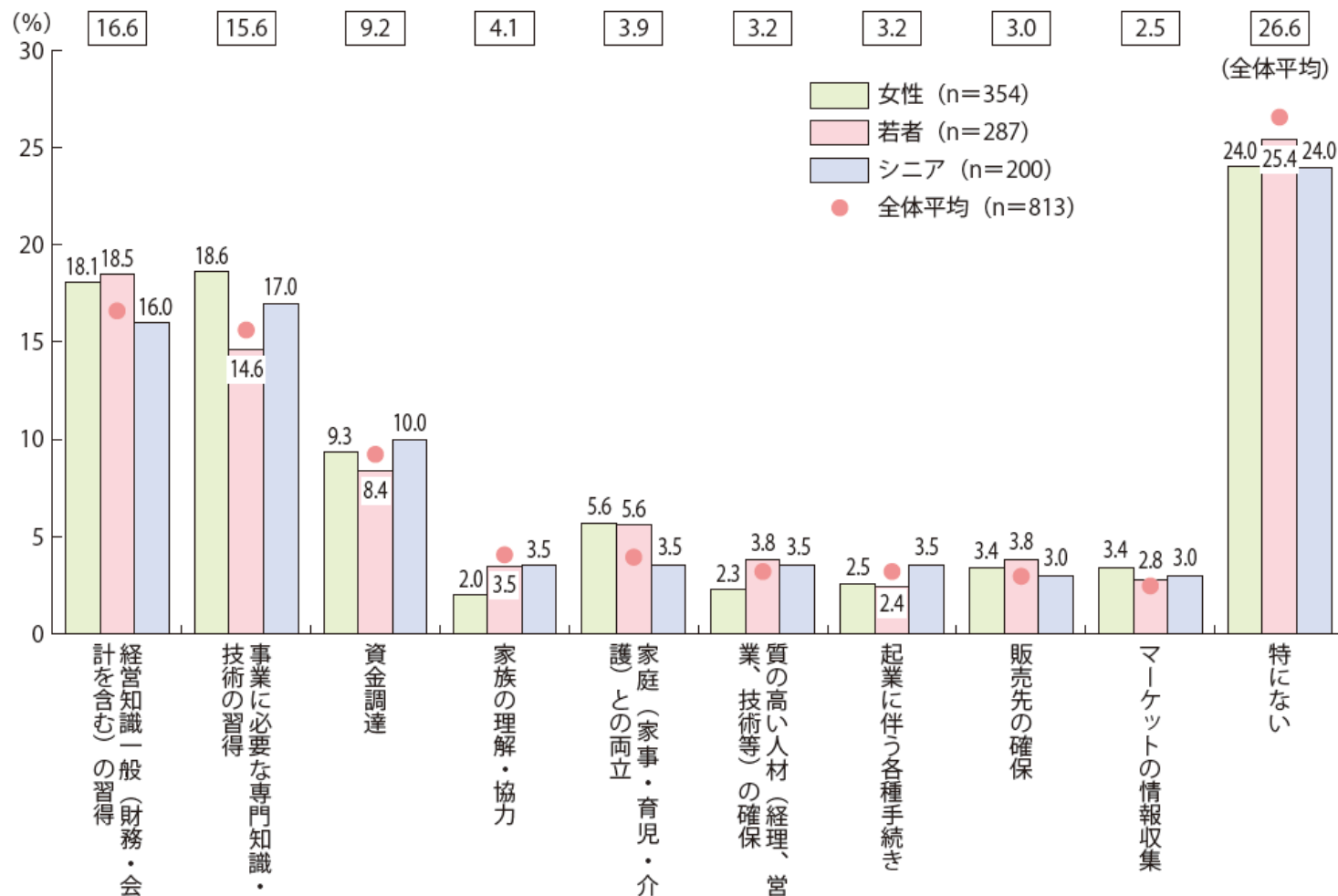
(注) 1. 潜在的起業希望者について集計している。

2. 起業の準備に踏み切らない理由について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

3. 「その他」については表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

○ この段階では全体の傾向と女性の割合に大きな差異は見られない。



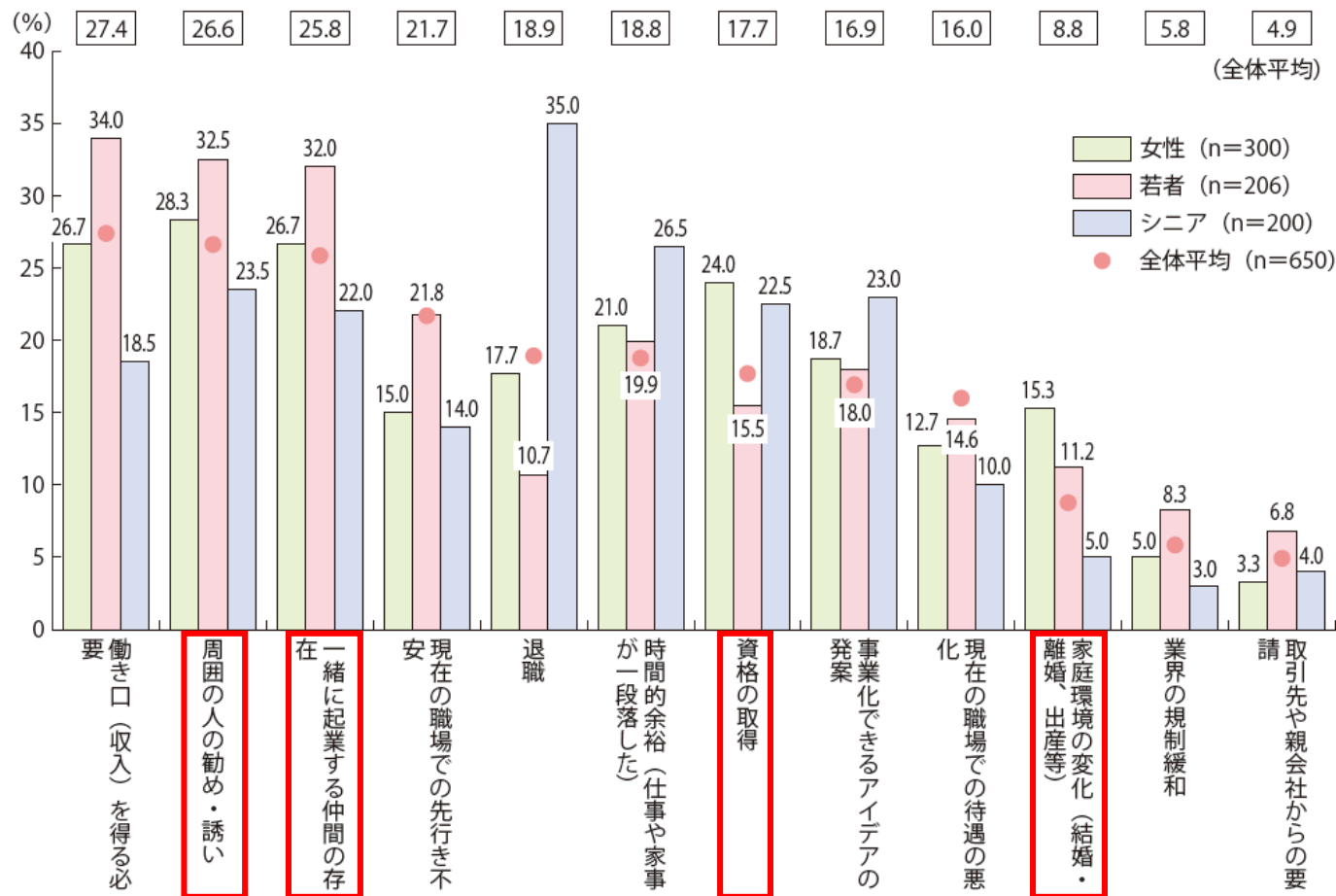
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 1. 回答した割合が高い10項目を表示している。

2. 初期起業準備者が直面している課題について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 女性は、「周囲の人の勧め・誘い」「一緒に起業する仲間の存在」とともに、「資格の取得」「家庭環境の変化（結婚、離婚、出産等）」と回答する者の割合が全体平均に比べ高い。

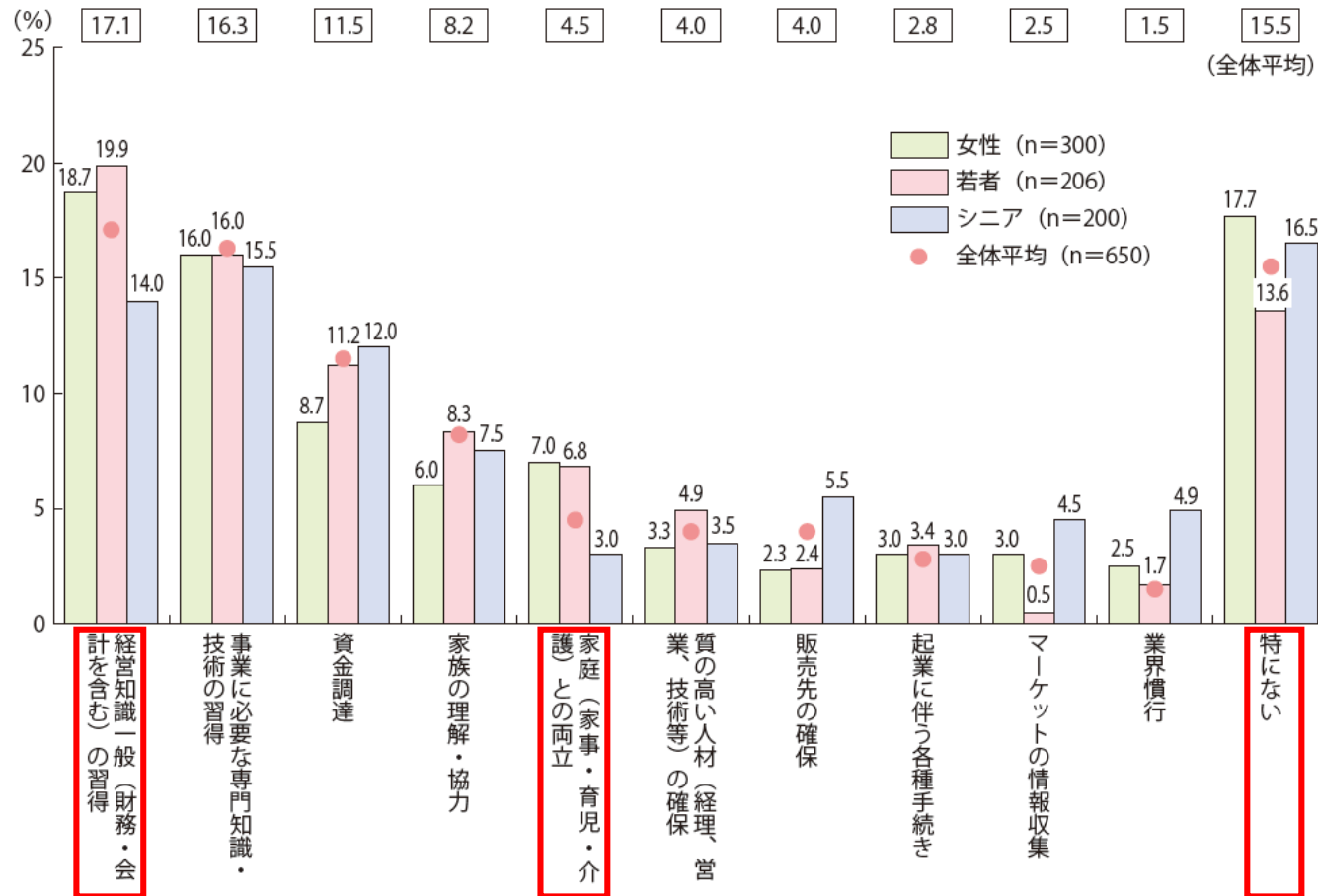


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 1. 起業準備者の回答を集計している。

2. 複数回答のため、合計は100%にはならない。

- 女性は「経営知識」「家庭との両立」と回答する割合が高い一方で、「特にない」と回答する割合も高い。
- 女性は比較的、生活のニーズに根ざした開業費用の小さい起業を行う傾向があることから、起業準備段階において直面する課題が相対的に少ないと考えられる。

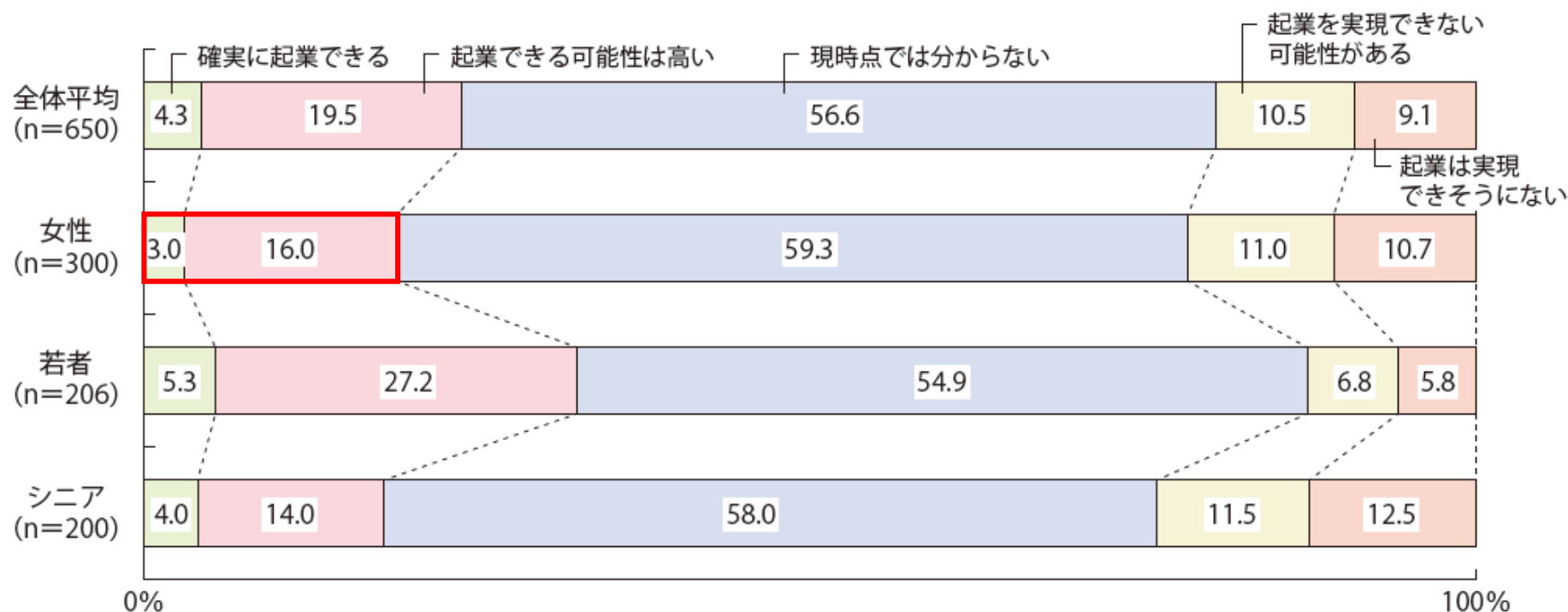


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 1. 回答した割合が高い10項目及び「業界慣行」を表示している。

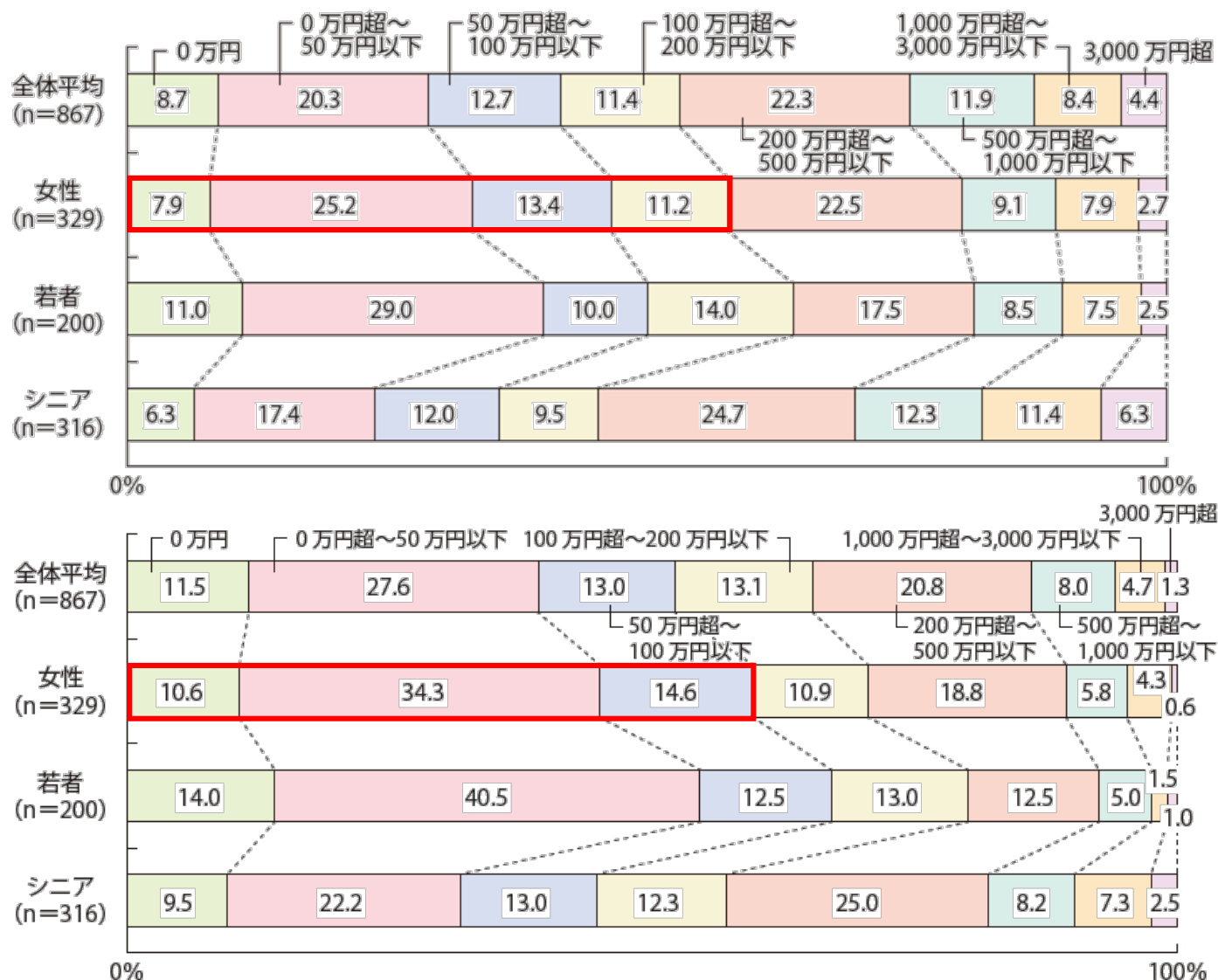
2. 起業準備者が直面している課題について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

- 女性とシニアは起業できる可能性があるとは回答した割合が低い。
- 「わからない」と回答した者を含めると、約8割が準備段階において不安を感じている。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注) 起業準備者の回答を集計している。

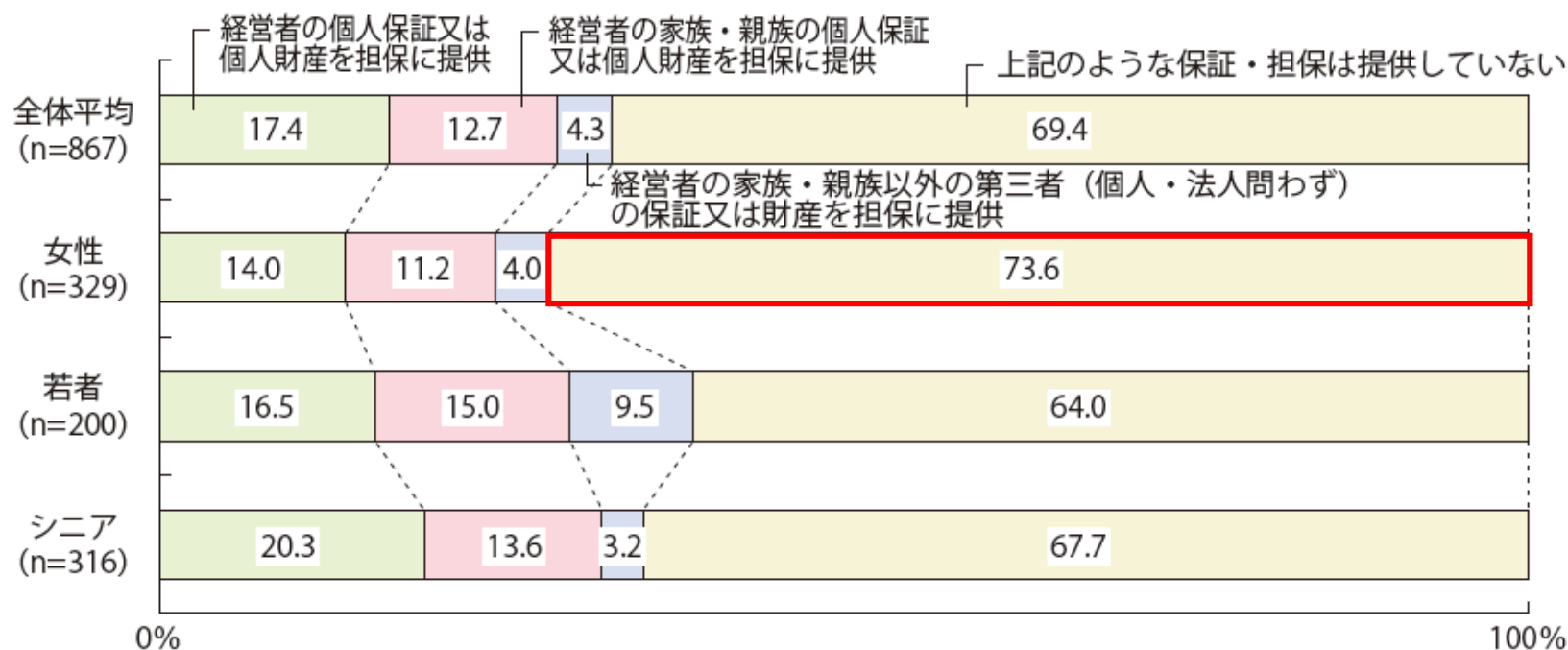
○ 女性や若者は比較的低額な費用・自己資金で起業する傾向がある。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

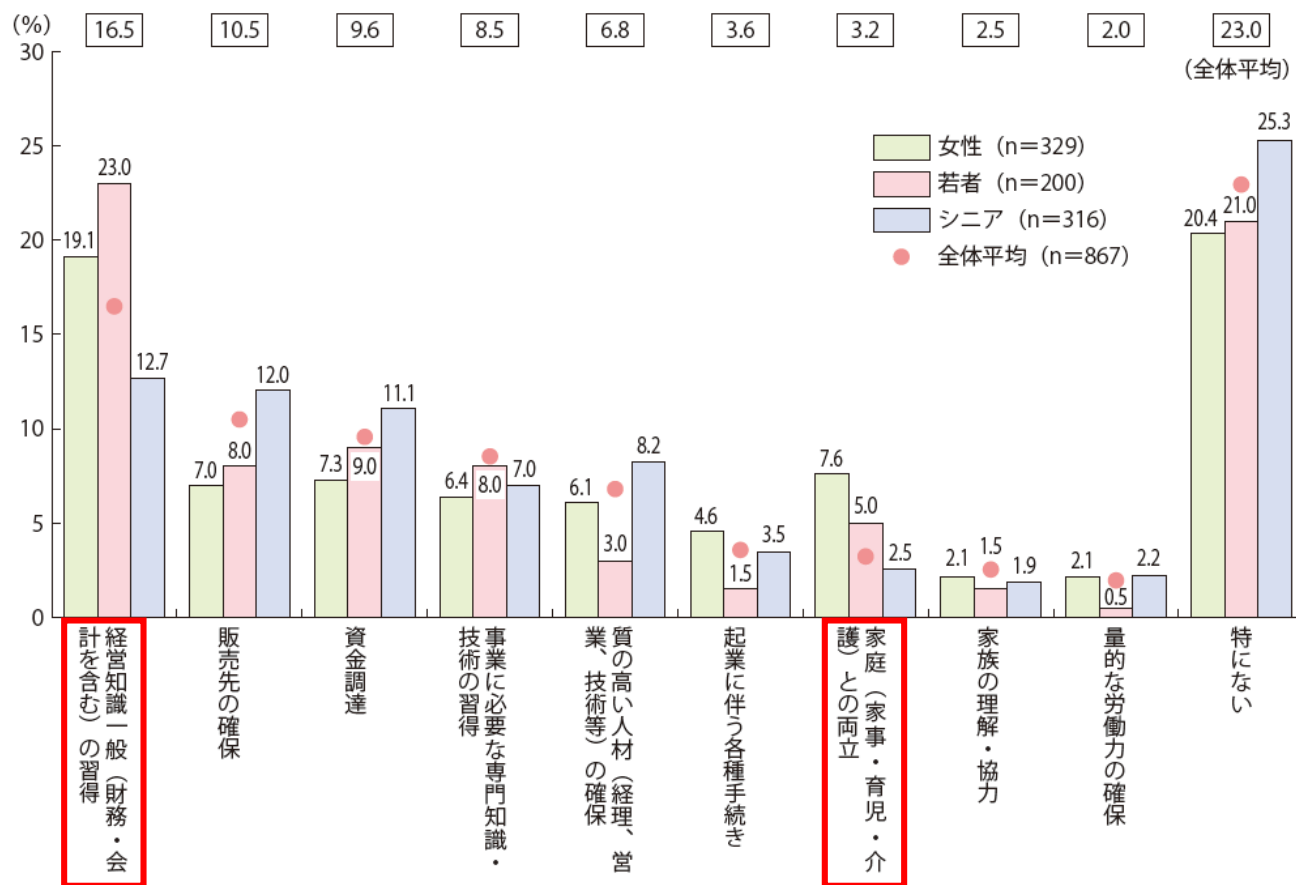
（出典）中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 女性は起業にあたって保証や担保を提供する割合が低く、手元資金の範囲で堅実に起業する傾向があると考えられる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

- 起業準備者が直面した課題と同様、女性は「経営知識」「家庭との両立」と回答する割合が高い。
- また、全体的に「特にない」の回答割合が高く、起業前に課題と感じていたことも、実際に起業するとそれほど困難ではなかったと感じる者が多いと考えられる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

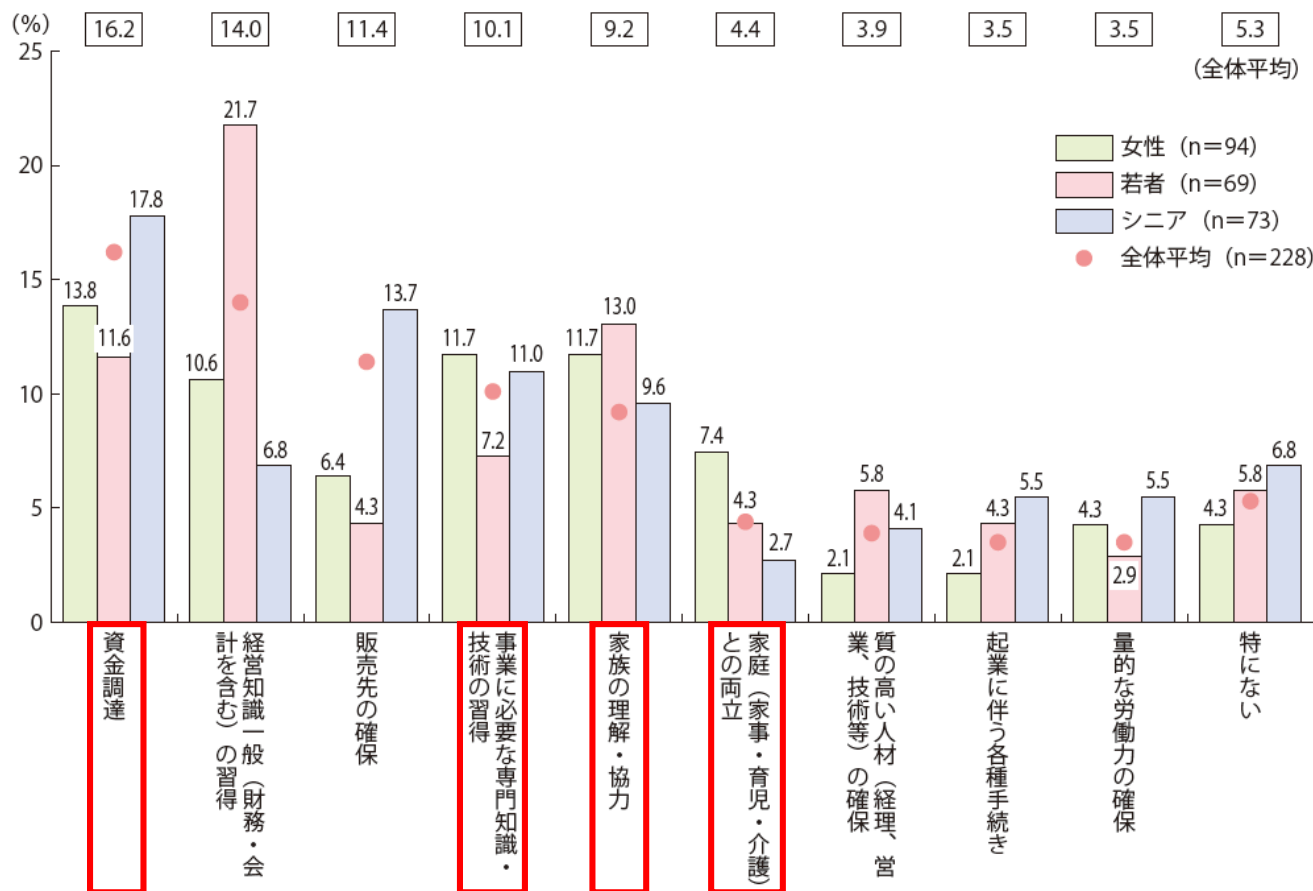
(注) 1. 回答した割合が高い上位10項目を表示している。

2. 起業家が起業時に直面した課題について、1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

起業家が起業を断念しそうになった際に直面した課題

【起業までの道のり（起業時）】

- 起業家が直面した課題に比べ、「経営知識一般」の割合が低下する一方で、「資金調達」「家族の理解・協力」の割合が大きくなっている。
- 特に女性は「家庭との両立」が課題と答える者の割合も比較的高い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

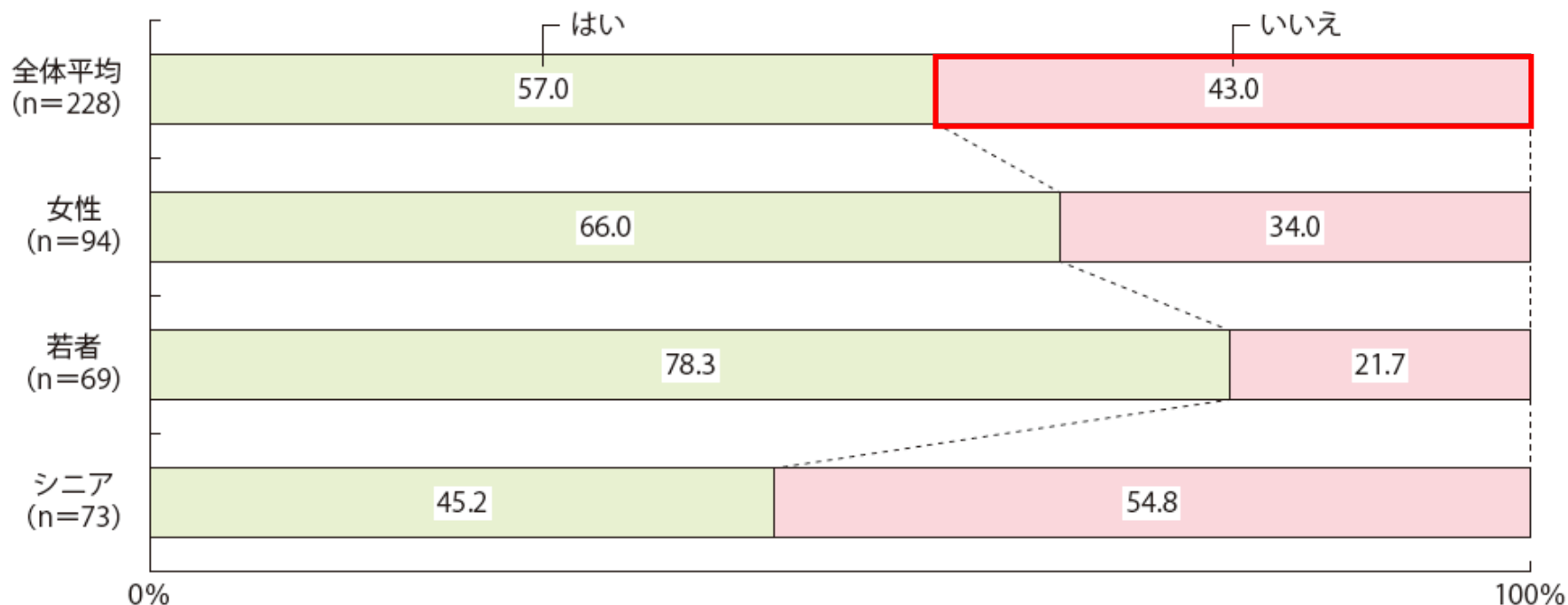
(注) 1. 回答の割合が高い上位10項目を表示している。

2. 起業家が起業を断念しそうになった際に直面した課題について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

起業家が起業を断念しそうになった際の相談相手の有無【起業までの道のり（起業時）】

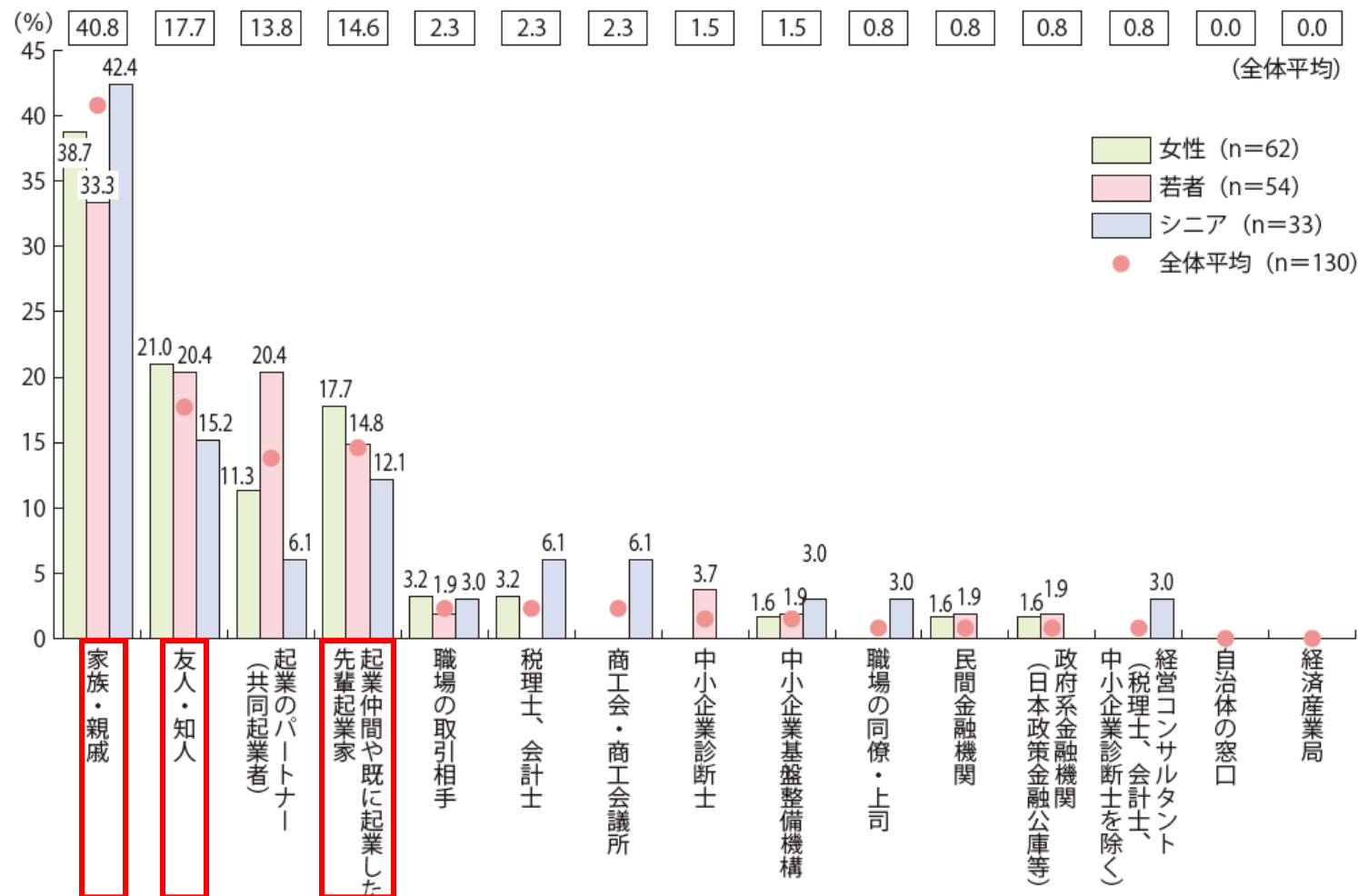
- 女性は比較的相談相手が多いが、全体平均では約4割の者が相談相手がいないと回答している。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
（注）起業家のうち、断念しそうになった経験がある回答者について集計している。

起業家が起業を断念しそうになった際の相談相手 【起業までの道のり（起業時）】

- 全体的に「家族・親戚」「友人・知人」を挙げる者が多い。
- また女性は「起業仲間や既に起業した先輩起業家」を挙げる割合が比較的高い。

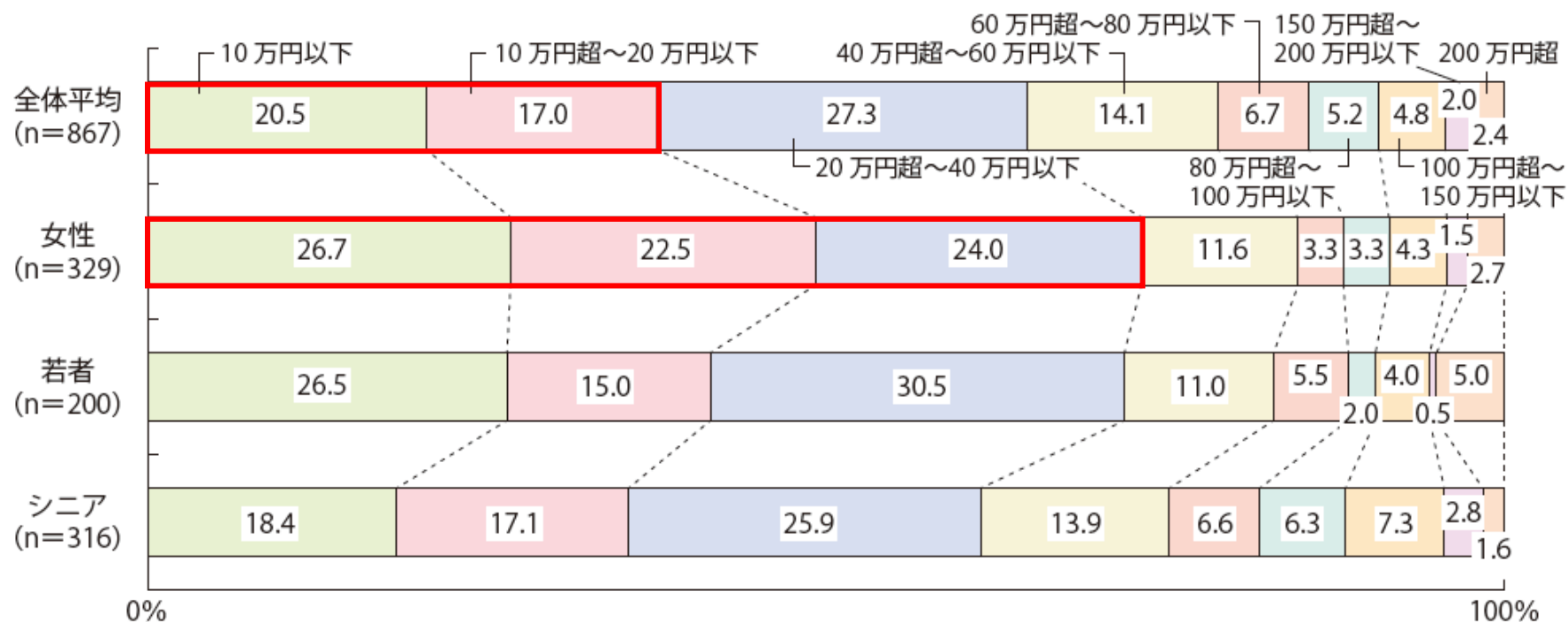


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注)「その他」は表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 全体平均の約2割が「10万円以下」、約4割が20万円以下である。
- 女性は比較的、手取り収入が低い層の割合が大きい。

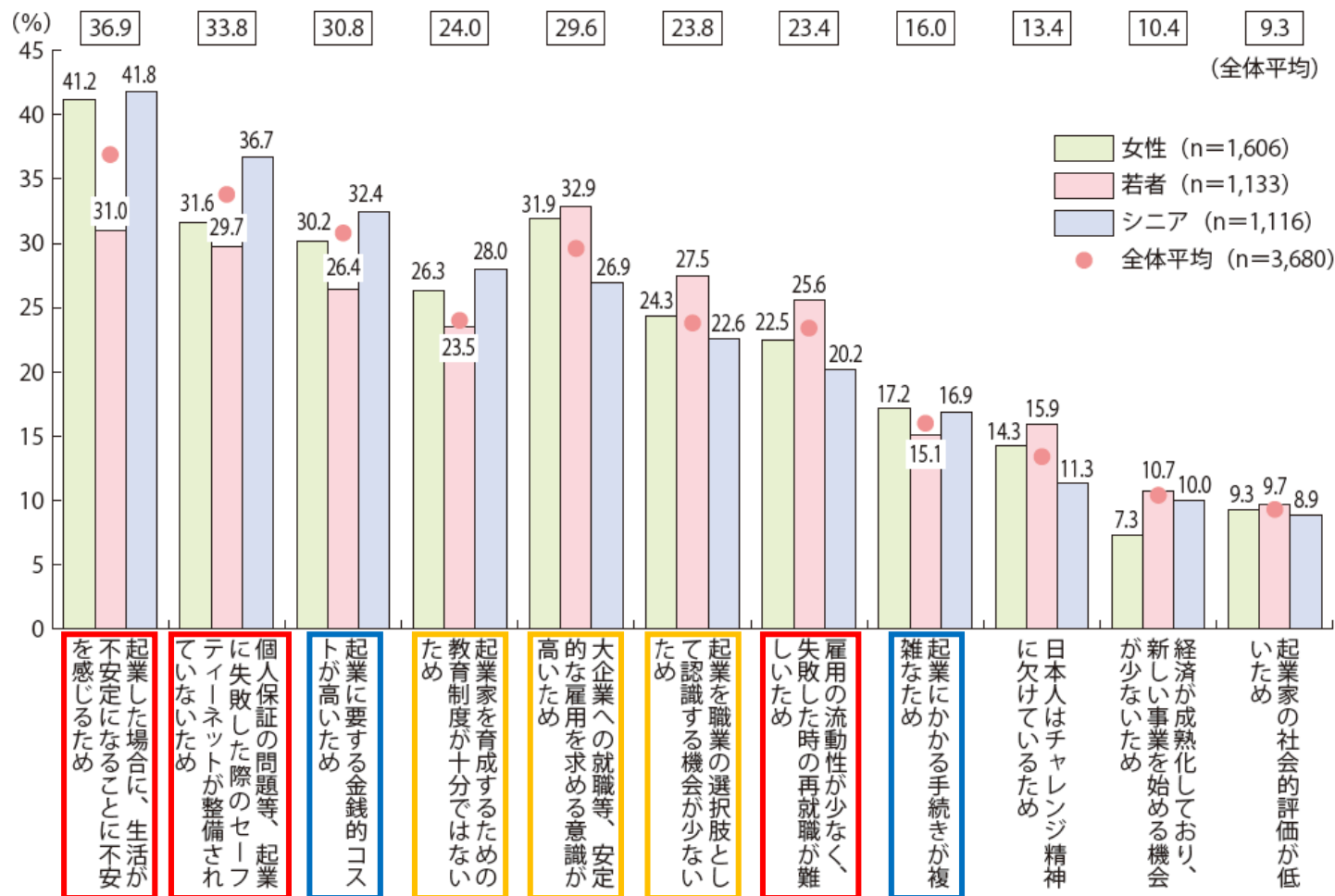


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 （注）起業後については、起業してから3年後とする。なお、起業して会社が継続しているが、3年経っていない場合は、現在の収入とする。

我が国の開業率が低い理由として考えられるもの

【起業までの道のり（課題）】

- 起業後の生活が不安、再就職が困難等「**起業後の生活・収入の不安定化**」に関するもの
- 金銭的成本が高い、手続きが煩雑等の「**起業に伴うコストや手続き**」に関するもの
- 起業家教育が不十分、安定的な雇用指向等「**起業意識**」に関するものに大別できる。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

（注）複数回答のため、合計は100%にはならない。

（出典）中小企業庁「中小企業白書2014年版」

- 日本の起業環境は総合120位であり、OECD34ヶ国中、31位と低水準。
- ただし、会社設立に必要な手続きや開業コストは、女性起業家に多い個人事業者としての起業には必ずしも当てはまらない。

	総合順位	会社登記に要する手続き数	会社登記にかかる日数	開業コスト
シンガポール	3	3	2.5	0.6
香港	5	3	2.5	0.8
アメリカ	20	6	5	1.5
イギリス	28	6	12	0.3
韓国	34	5	5.5	14.6
フランス	41	5	6.5	0.9
ドイツ	111	9	14.5	4.7
日本	120	8	22	7.5

資料：世界銀行「Doing Business 2014」

(注) 1. register firm を会社登記と訳した。

2. 開業コストは、一人あたりの所得に占める金額の割合を表している。

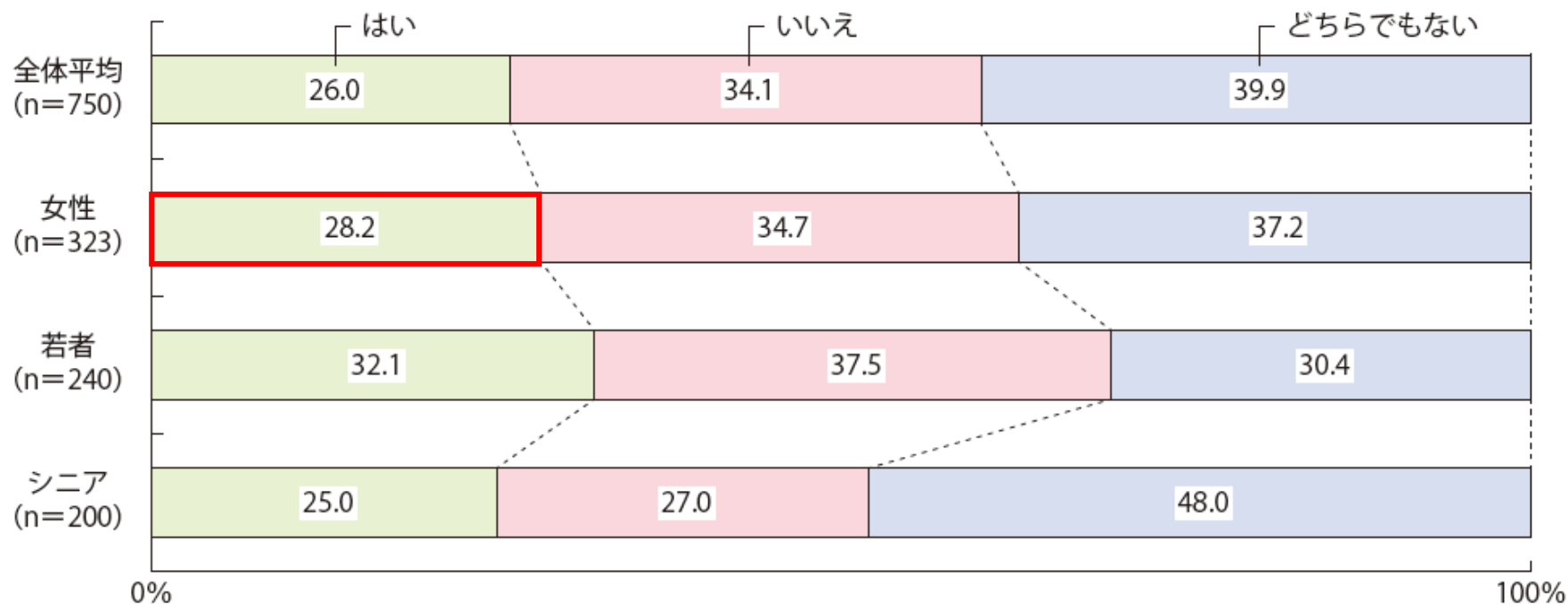
- 起業無関心層や潜在的起業希望者は、周囲に起業家が少ない者が多い。

(%)

	周囲に いない	両親	配偶者	兄弟	親戚	子供	友人・知人	職場の同 僚・上司
起業無関心者 (n=7,005)	66.1	10.3	3.6	4.5	10.2	1.2	14.7	3.7
潜在的起業希望者 (n=660)	54.1	16.1	2.7	4.8	13.8	0.8	24.8	6.2
起業希望者 (n=773)	32.9	21.1	3.8	5.6	20.1	1.3	42.3	12.5
起業準備者 (n=517)	24.6	21.3	5.0	11.4	25.9	1.5	48.7	17.8
起業家 (n=911)	33.6	19.2	9.3	12.6	15.7	2.6	41.1	10.0

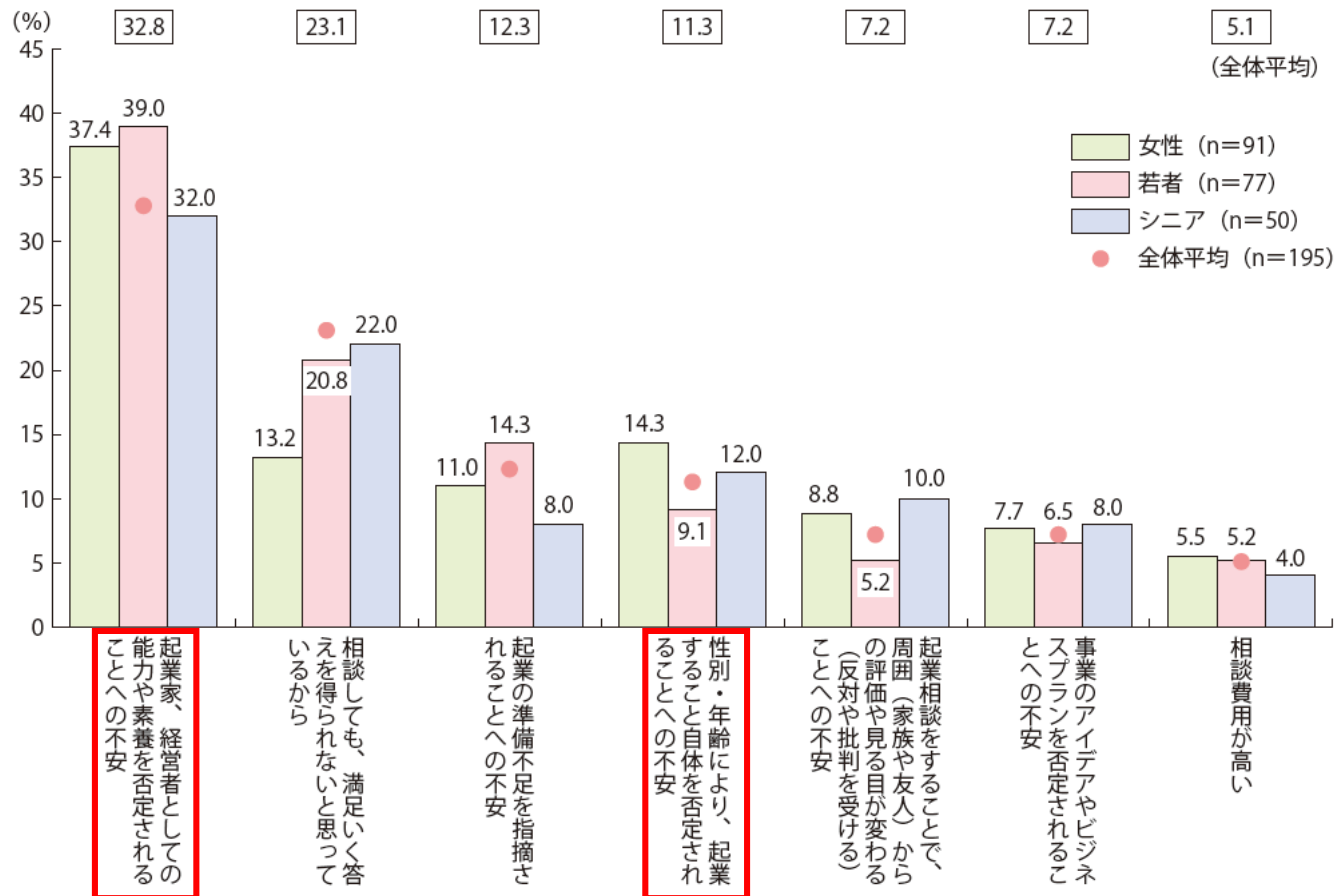
資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

- 全体平均で26%の者が抵抗を感じると回答し、特に女性や若者ではその割合が高くなっている。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
（注）潜在的起業希望者に対する回答を集計している。

- 全体的に「起業家としての能力や素養を否定されることへの不安」を回答する者が多く、女性に関しては「性別・年齢により起業すること自体を否定されることへの不安」を回答する割合が比較的高い。

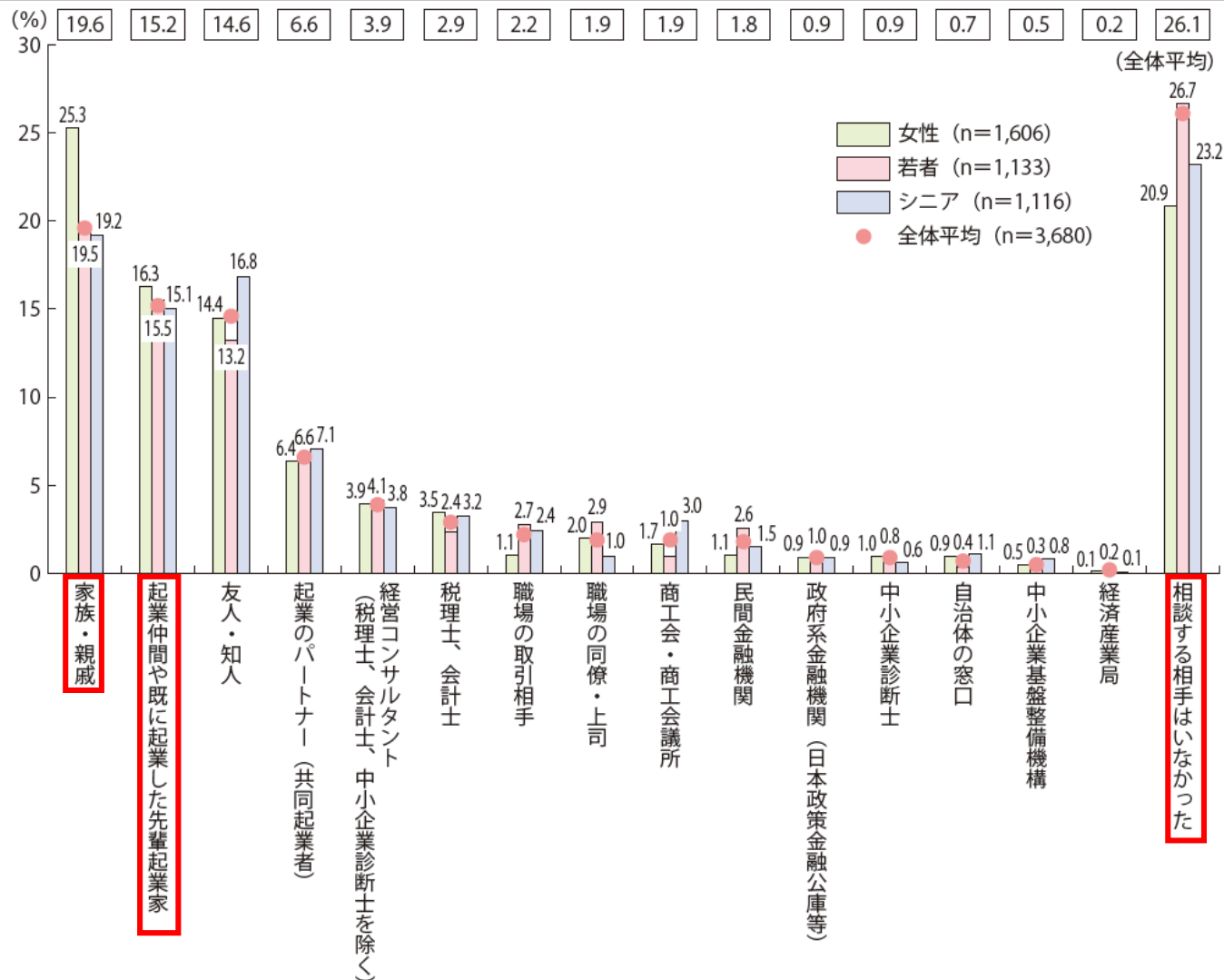


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注) 1. 起業に関して周囲に相談することに抵抗を感じている者（潜在的起業希望者）に対する回答を集計している。

2. 「その他」は表示していない。

○「相談する相手はいなかった」と回答するものが全体的に多い一方で、女性は「家族・親戚」「起業仲間や先輩起業家」と回答する者が比較的多い。

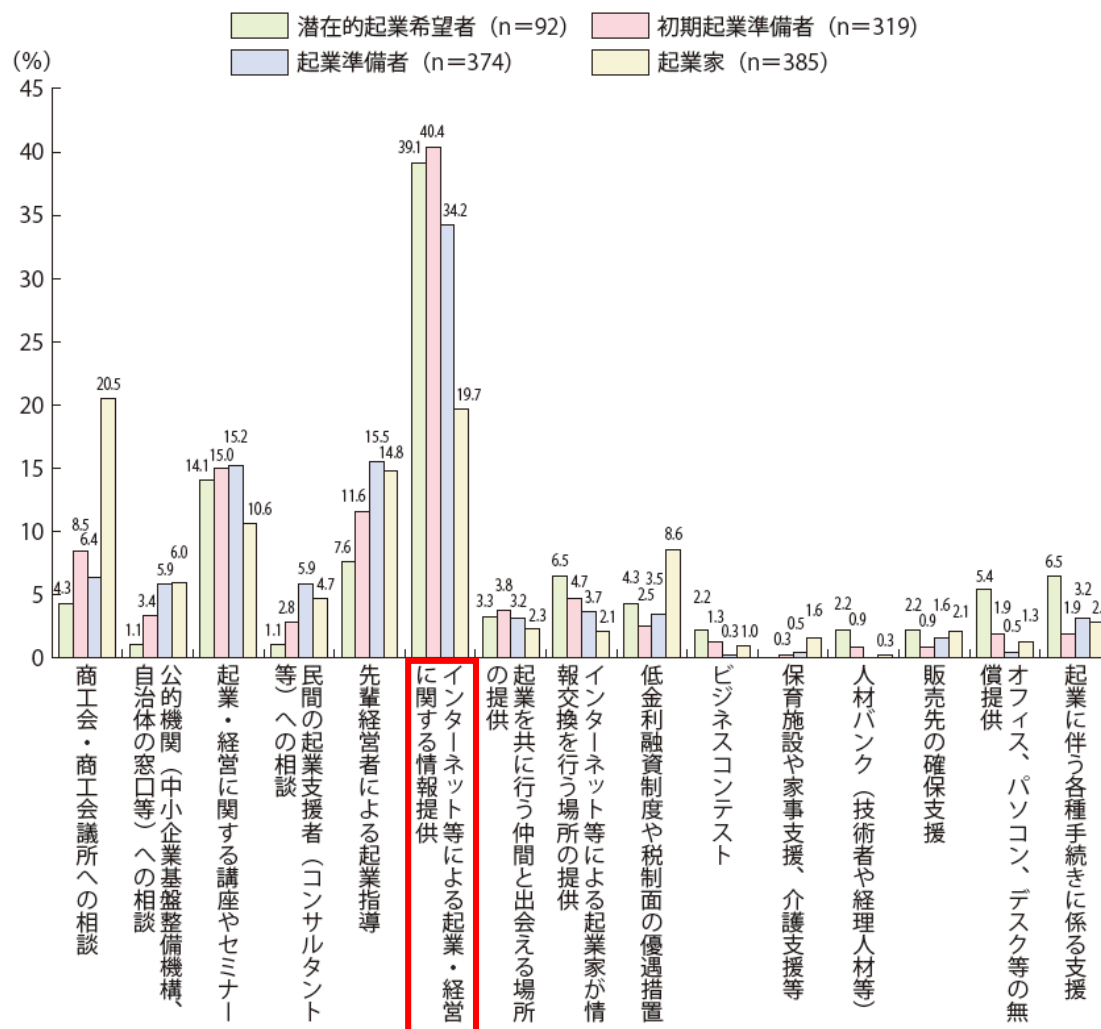


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注)「その他」は表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

○「インターネット等による起業・経営に関する情報提供」と回答する割合が高い。

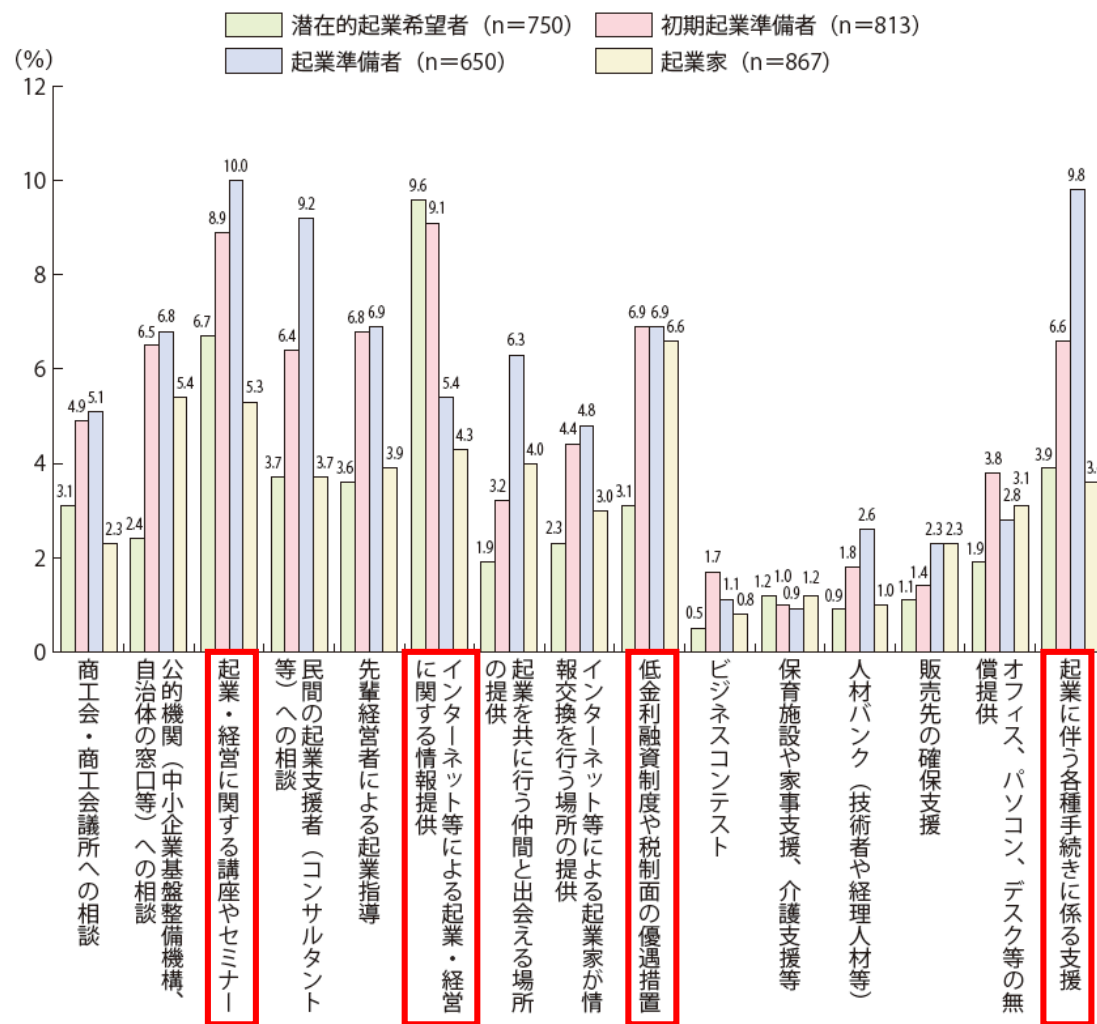


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

(注)「その他」については表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

○「講座やセミナー」「インターネット等による情報提供」等と回答する者が多い。



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注)「その他」、「特になし」については表示していない。

(出典) 中小企業庁「中小企業白書2014年版」

「日本再興戦略」改訂2015 -未来への投資・生産性革命-（平成27年6月30日閣議決定）

⑦ 地域の創業支援ネットワークの構築と女性・若者の創業支援

- 地域のサービス分野における創業や女性・若者の創業等を支援するため、日本政策金融公庫等の創業者向け融資等の一層の活用や起業教育の充実を図ることで、創業者向けの円滑な資金供給及び創業マインドの向上を促進する。また、例えば、女性起業家が身近に経営相談を持ち掛けられるようにするための日本政策金融公庫等の相談窓口や地域の起業経験者、創業支援人材等のネットワークの構築、創業分野に係る政府系金融機関と民間金融機関の協調融資スキームの構築など、地域の創業支援体制を強化する。

まち・ひと・しごと創生総合戦略2015改訂版（平成27年12月24日閣議決定）

（１）-（ア）-D-④ 創業支援・起業家教育

- （前略）株式会社日本政策金融公庫が開催する「ビジネスプラン・グランプリ」・出張授業やDBJが開催する「DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」等を通じて、創業マインドの向上を図るとともに、起業家教育の充実を図る。

（３）-（エ）-④ 地域における女性の活躍推進

- （前略）「女性活躍加速のための重点方針」に基づき、地域での女性の働く場の確保、女性による起業の支援、これまでの女性の活躍が少なかった分野での活躍推進（中略）等に取り組み、女性活躍のための環境整備等を推進する。

女性活躍加速のための重点方針2015（平成27年6月26日すべての女性が輝く社会づくり本部決定）

3 女性活躍のための環境整備

（4）地域社会における女性の活躍推進

- ① 女性が起業を通じてその個性と能力を発揮できるよう、地域における金融機関、創業・産業支援機関、地元企業、起業経験者等の様々な関係者が連携し、女性の起業を支援する体制を整備する。

第4次男女共同参画基本計画（平成27年12月25日閣議決定）

第2分野 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

<成果目標>

項目	現状	目標（期限）
<u>起業家に占める女性の割合</u> ※起業家とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職に就いた者のうち、現在は自営業主（内職者を除く）である者。	30.3% （平成24年）	30%以上を維持 （平成32年）

4 経済分野

ウ 女性起業家に対する支援

- ① 起業に係る女性特有の課題を踏まえ、事業の立上げから運営までをワンストップで支援する仕組みのほか、事業活動の高度化に向けて、例えば、保証や担保等に必要以上に依存しない信用付与、経営面や事業面におけるメンターによる支援等、民間金融機関や民間企業による多面的な支援の在り方を検討する。
- ② 女性起業家が利用できる低利融資や補助等の女性起業家に対する資金面・事業活動面での支援の充実を図るとともに、情報発信を進める。
- ③ 「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」を踏まえた措置や各種の助成制度を活用し、女性の起業家を支援する。

G7エルマウ・サミット首脳宣言（平成27年6月8日外務省仮訳）

女性の起業家精神

女性の起業家精神はイノベーション、成長及び雇用の主要な推進力である。しかし、G7諸国及び世界中で、多くの場合、事業を開始し発展させる際に女性が直面する追加的な障壁のため、自ら事業を運営する女性は男性に比べて非常に少ない。我々は、附属書に規定された女性の起業家精神を促進するための共通の原則について合意し、他の関心国に対し、この我々の努力に参加することを招請する。特に、我々は、女兒と女性に起業家となる可能性を認識させる。我々は、例えば、金融、市場、技能、リーダーシップの機会及びネットワークへの女性起業家のアクセスを促進することを通じ、女性起業家の個別のニーズに対応する。我々は、OECDに対し、女性起業家の促進について進展を監視するよう要請する。（後略）

附属書：女性の起業家精神に関するG7原則

- 女兒及び女性に、例えば学校、職業訓練、大学など早期段階から適切な情報を促進することにより、起業家となる可能性を認識させ、その考えをビジネス事案にすることを積極的に奨励する。
- ジェンダーの定型化に対抗し、女兒が早期からSTEM（科学、技術、工学及び数学）分野において履修し教育を完了するための具体的な措置を策定する。
- 例えば新世代の女性創業者の模範として、成功した女性起業家の注目度を高める。
- 例えば女性起業家に目的に沿った情報、技能、助言及び指導を提供し、女性起業家のためのネットワークを促進することにより、女性起業家の個別のニーズに対応する。
- 女性起業家の、代替的な資金源及び銀行制度を含む資金調達、技術・イノベーション、及び国内・国際市場へのアクセスを促進する。
- 例えば、男性女性双方のための、育児休暇及び保育へのアクセスを含む仕事と家庭生活の両立支援のための十分な政策を策定することにより、枠組みを改善する。

【拡大支援】

販路開拓・マッチング支援・研修

- ・ 中小規模事業者対策推進事業（女性経営者への研修支援）（中小企業庁） 等

ビジネスコンペ・表彰（意識啓発）

- ・ 女性起業家大賞（日本商工会議所女性会連合会）
- ・ 女性新ビジネスプランコンペティション（日本政策投資銀行）
- ・ 日本ベンチャー大賞（経済産業省）
- ・ Japan Venture Awards（独立行政法人中小企業基盤整備機構）等

【創業支援】

開業～自立期運転用女性向け低利子融資

- ・ 女性、若者/シニア起業家支援資金（日本政策金融公庫）等

女性の起業が多い業種向け資金繰り支援

- ・ 生活衛生関係営業での女性創業資金繰り支援（日本政策金融公庫） 等

創業補助金・開業用/初期運転用低利子融資

- ・ 創業・第二創業促進補助金（中小企業庁）
- ・ 創業支援事業者補助金（中小企業庁）
- ・ 新創業融資制度における女性向け小口創業特例制度（日本政策金融公庫）
- ・ 創業支援貸付利率特例制度（日本政策金融公庫） 等

自治体との連携による創業支援

- ・ 地域商業自立促進事業（中小企業庁） 等

創業スクール

- ・ 地域創業促進支援委託事業（創業スクール事業）（中小企業庁）等

情報提供・相談支援

- ・ 中小企業・小規模事業者支援ポータルサイト（ミラサポ）（中小企業庁）
- ・ 女性応援ポータルサイト（内閣府）
- ・ 各自治体、商工会等の相談窓口 等

起業家教育

- ・ 起業家教育普及促進事業（経済産業省）
- ・ 教員向け指導事例集「生きる力を育む起業家教育のススメ」の作成（経済産業省・文部科学省）
- ・ グローバルアントレプレナー育成促進事業（文部科学省）
- ・ グローバル起業家等育成プログラム（経済産業省） 等

